

昨年の議会活動を振り返って

川崎市議会議員 いわくま ちひろ



みらい川崎市議団

連載No.113

新しい年を迎えまし

た。今年は、4月に行われる統一地方選挙をはじめ、4月から5月にかけての天皇陛下下の退位と新天皇の即位、7月の参院選、10月の消費税増税と重要な行事が続きます。海外では、3月の英国のEU離脱、5月の欧州議会選挙などヨーロッパを中心に激動の年となることが予測されます。

このような転換期こそ、社会情勢の変化にアンテナを張り、我々の市民生活にどのような影響を及ぼすのか関心を持つことが求められるのではないのでしょうか。

2018年・市議会本会議における質問要旨

3月議会

英語学習の充実と教員の確保(※1)

シティプロモーション(市の広報PR)事業費の会計調査
浮世絵等の有効活用・事業費の調査

9月議会

カルッツかわさきの整備・改修

保育園の指導監査・質の確保

パラムーブメント推進事業費の会計調査
教育委員会の不正経理・随意契約案件調査

6月議会

公務員の再就職・天下りの制度改革(※2)

非行や児童虐待等に対応した支援体制の構築(※3)

防災危機管理・応急仮設住宅の整備

12月議会

教育委員会の不正経理問題

公務員の再就職・天下り制度改革

市立高津高校の整備・改修

英語学習(※1)

については、これを設けることを具体案として提案し、これまで外国語指導助手(ALT)のてきましたが、それについては先送各校配置を求め実現してきました。一りされています。12月議会では、教国の英語教育改革が急速に進む育委員会とOBが在籍する市スポー中、ALTが不足することを予測し、ツ協会との癒着・不正経理を発見して、私は新たな教科選任教員の必要修正しましたが、市と市職員の再就性を訴えてきました。今年度より「小職先である出資法人との慣れ合い体学校英語強化教員」を新たに15名質を改善しなければ根本的な解決に(60校分)確保しましたが、今後は、は至りません。

全校展開できるように求めていきます。

非行や児童虐待等に対応した支援

公務員の再就職・天下り(※2)

体制の構築(※3)

については、平成27年2月に発生した多摩川での中1

て掲げていましたが改革は遅々として進んでいません。これまでも上限り、あつた事件では、関係機関の連00万円だった役員報酬を700万円携の不備など様々な問題が露呈し円に緩和したり、退職前に勤めていた。この間、先進的な取り組みを行った部署と密接な関わりがある出資法ている北九州市などを視察し、学んだ人への再就職は2年間禁じられてい事例を川崎市で実践できるよう多職ましたが、それも緩和するなど公務種連携の拡大など具体案を提案しま員に甘い制度となっています。役員した。結果、学齡児支援に係る専門機報酬について、私は継続して出資法関による連絡会の構成機関の拡大等に人の業績等と連動し明確な評価基準ついで実施することを実現しました。